



PEACE 派遣留学報告書

記入日		2017年 12月25日	
氏 名	しのだ りょうへい 篠田 諒平		
所属学部・研究科	文学研究科博士後期課程	学部	1 年次 (留学開始時点)
学 生 番 号	D175969		
留 学 先 大 学	ホーチミン市人文社会科学 大学 (国名：ベトナム)		
所属学部・学科等名	日本学部		
在 籍 身 分	特になし		
留 学 期 間	2017年 11月 11日～ 2017年 11月 24日		

1. 留学するまで

留学しようと思ったきっかけ・理由	先生から留学についてお話があったことが直接のきっかけだが、元々海外に関心があったため、よい機会だと思い、応募した。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	5ヶ月前。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	パスポートの準備、留学先大学との調整。 基本的なベトナム語を留学前に学んでおけばよかった。

2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類：なし (滞在15日以内のため)
	ビザ申請先：
	提出書類：
	手続きに要した日数：
その他必要な事前手続き	パスポートの申請
出 国 年 月 日	2017年 11月 11日
経 路 (往 路)	西条駅→広島駅→新大阪駅→関西空港→タンソンニャット空港
現 地 で の 出 迎 え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者 ・ その他) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	参加する授業について事務担当の院生と調整。
帰 国 年 月 日	2017年 11月 24日

経路（復路）	タンソンニャット空港→関西空港→新大阪駅→広島駅→西条駅
--------	------------------------------

3. 留学費用について

支出額	総額	60000	円	
	内訳	渡航費（航空券）	0	円（広島大学負担）
		保険料	5000	円
		教科書代（学費）	0	円
		宿舍費	30000	円（広島大学負担）
		光熱費	0	円
		食費	18000	円
		交通費（宿舍→大学間）	0	円
		交際費	5000	円
		その他（書籍購入費）	2000	円
（費）		円		
（費）		円		

4. 授業について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	日本学部の日本語の授業（文法・会話・聴解など）と日本史の授業に参加。 学生の質問への回答などを行う。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	積極的に参加すること。

5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他（大学内の宿舎）		
住居の広さ	約 14 m ²	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有（人） <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居費	1ヶ月当たり	（現地通貨）	約 70000 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	道路が近くにあり、交通量も多いため、騒音が苦手な人は耳栓などの準備をした方がよいかもしれない。		
(2) 医療について			
留学先でかかった病気、けが	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		

有の場合、具体的な症状等（情報共有しても差し支えなければ）	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：
留学先国の医療事情（日本と比較して）	医療機関を利用しなかったため、分からない。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	生水を飲まないようにする。
(3) 食生活についてのアドバイス	
私は食生活で困ったことはなかったが、食事が合わないという人もいるという話を留学先で聞いた。食事が合わないようであれば、日本の食べ物（お菓子など）も現地では売られているため、それらを購入するとよいと思う。	
(4) 服装についてのアドバイス	
ホーチミン市は赤道に近く、気温が高いため、日本の夏の恰好で十分対応できる。ただし、急な雨が多いため、サンダルを持っていると安心と思われる。	
(5) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む）	
トイレは施設によって差があるようで、トイレトーパーを使えない所もある。新しい建物であればその心配はない。基本的に学内外でWi-Fiが使用できるため、インターネットを利用するにあたって不自由することはない。	
(6) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？）	
授業での学生との交流、日曜日に開かれる日本語クラブへの参加。 特に日本語クラブでは大学生だけでなく、社会人や、日本人らとの交流ができた。	
(7) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
年長者を敬う習慣があるため、年配の人が困っていたら助けに行った方がよい（できる限りで）。	
(8) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの	

お土産のお菓子、日本でしか手に入らないようなものがよい。
お菓子、食事が合わなかった時のために持って行ったが、現地の店で日本のお菓子は販売しているため、持って行く意味がなかった。

(9) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

バイクが多いため、道路を横断する時は気を付けて渡る。難しいようであれば、他の歩行者についていながら渡るとよい。

6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2020年 3月 (当初の卒業予定年月 2020年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
現在の状況および今後の予定・進路等	入学当初の計画通り進んでいる。 進路については未定。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	短期間の留学だったため、特に工夫することはなかった。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
CD付 ベトナム語が面	KADOKAWA/中経出版	初歩的なベトナム語であれば対応できる。
D21 地球の歩き方 ベ	ダイヤモンド・ビッグ社	様々な情報が載っており、便利だった。

8. 留学を振り返って

留学を終えての感想：

留学前はどうなるか心配だったが、大きな問題もなく、刺激的な毎日であった。今回は2週間という短い期間だったため、またベトナムを訪れたいと思っている。

後輩へのメッセージ：

海外に関心があるならば、時間にゆとりがある学生時代に留学をした方がよいと思います。不安に思う点もあるでしょうが、意外と乗り切ることができるものなので、少しでも悩んでいるのであれば、思い切って留学をしてみましょう。

9. 自由記述 (1200 字以上)

- ・「学習に関すること」や「生活に関すること」について自由に書いてください。
- ・写真を2~3枚貼り付けてください。(各写真の容量を100KB程度まで小さくすること)

「学習に関すること」ということで、留学先の大学は2コマ連続の授業が当たり前であり、朝も早く、私が参加した授業の多くが8時から開始していた(早い授業は朝7時からある)。近年の広島大学の授業の形態に近いと思うが、朝早くからの授業は慣れないとなかなか大変なものだと思う。また、授業の合間に休憩を挟むが、決まった時間に休憩を取るわけではなく、授業の進み具合で先生が決めており、休憩時間の取り方も日本の学校生活と大きく異なるところだろう。それらは大きな差ではないため、現地の習慣にならえば特に問題はない。

「生活に関すること」について、ベトナムの朝は授業もそうだが基本的に早いように思う。朝7時台に宿舎に清掃が入ったりすることもあり、日本にいる時の感覚で生活していると戸惑うこともある。



食事については、私自身困ることはなく、むしろベトナムの料理が美味しかったため、何の問題はなかった。ただ、食事ばかりは個々人の体質の差があるため、最初から挑戦するようなことはせず、少しずつ慣らしていった方がよいかもしれない。少なくとも現地の人が勧める料理であれば安心できるものが多いため、誰かと食事する機会があれば、積極的におすすめの料理を聞いて連れて行ってもらった方がいい。屋台も多いが、ガイドブックなどには衛生面の問題で屋台の料理に気を付けるようにコメントしていることが多い。とはいえ屋台の料理も魅力的なものが多いため、ベトナムの料理に慣れてきてから、現地の人におすすめの屋台に連れて行ってもらうと安心だろう。私も案内してもらった学生の子にとある屋台へ連れて行ってもらったが、その店の「バインミー」というサンドイッチが美味しく、帰国前までたびたび通うほどだった。

大学外での移動について、留学中はホーチミン市内の名所を回る機会が多かったが、移動は徒歩と案内してくれた学生のバイクに同乗することが多く、タクシーやバスを使うことはあまりなかった。大学の近くに名所が多かったこともあるのだが、バイクの利便性が高いことも大きい。二人乗りのバイクは日本ではなかなか乗る機会がないが、ベトナムでは当たり前であり、ヘルメットさえあればすぐに乗ることができる。スピードについては、交通量が多いためそれほど出せないこともあって、二人乗りに慣れてくれば問題はないだろう。ただし、現在市内に地下鉄が建設中であり、数年後にはこうした風景は変わってくるかもしれない。なお、バスは先払いで車内の車掌に料金を支払う。バス停では合図を出さないとバスは止まらないため、利用する場合注意が必要である。それに加え、バスの路線が複雑なため、少々利用しづらいところもあるが、均一料金の区間が多く、タクシーよりは安く利用できる。

徒歩でも十分名所を回ることはできたが、現地の人と一緒に行動している時と比べ、一人で歩いている時は声をかけられる確率が一気に上がる。日本語で話しかけられることもあるが、ぼったくりの可能性があるため、声をかけられてもそのまま通り過ぎた方がよい。また、地域や場所によってスリが多い所がある。貴重品の管理には気を付けたい。



学食で出される料理の一つ